

I・TOP横浜ラボ 第3弾の取り組みが始動！ 「コロナ禍における商店街の活性化支援」に関する提案募集を開始

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:村林 聡、以下 MURC)は、横浜市より「令和2年度「I・TOP 横浜」プロジェクト創出等推進事業業務」を受託しています。I・TOP 横浜の取り組みは、平成29年度より開始したもので、IoT等を活用した「横浜発」の新たなビジネスの創出、社会課題の解決を目指すものです。(詳細は参考資料)

このたび、本活動の一環として実施している「I・TOP 横浜ラボ」の第3弾の取り組みをスタートします。「I・TOP 横浜ラボ」は、横浜市が抱える重要な社会課題やニーズを踏まえ、特定の実証実験フィールドを確保したうえで、企業からの提案を募集し事業化を支援するプロジェクトです。第3弾となる今回は、「コロナ禍における商店街の活性化支援」の提案募集を9月16日より開始。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている市内の商店街の活性化支援をテーマに、店舗の活性化や効率的な店舗運営を実現する新たなIoT製品・サービスの提案を募集します。また、今後、提案をいただいたIoT製品・サービスの試験的な導入を希望する商店街等を募集し、両者のマッチングの実施を予定しています。

募集概要

- 募集内容

商店街の活性化に繋がるIoT製品・IoTサービス

- 募集期間

令和2年9月16日(水)～令和3年1月29日(金) 17:00まで

募集情報の詳細は、横浜市ホームページをご確認ください。

URL : <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/keizai/iot/itop/itoplab3.html>

【本件に関するお問い合わせ】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
政策研究事業本部 公共経営・地域政策部[東京] 林田、中田
〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2 オランダヒルズ森タワー
TEL:03-6228-1066 (平日:月～金(祝祭日除く) 9:00～17:00)
E-mail:proposal-itop@mure.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

コーポレート・コミュニケーション室 竹澤、廣瀬 E-mail:info@mure.jp

《参考資料》

1. 「I・TOP 横浜」について <https://itop.yokohama/>

横浜市では、平成 29 年度に IoT 等を活用したビジネス創出に向け、交流・連携、プロジェクトの推進、人材育成等の場となる「IoT オープンイノベーション・パートナーズ(I・TOP 横浜)」を立ち上げました。国内外の様々な企業・機関と連携を図りながら、オープンイノベーションによって付加価値の高い製品・サービスの開発や新たなビジネスの創出、新技術を活用した社会課題の解決を目指して取り組んでいます。

2. 「I・TOP 横浜ラボ」について

横浜は少子高齢化や生産年齢人口の減少、郊外部を中心とした都市インフラの老朽化などの社会課題を抱えています。一方、横浜では様々な国際的なイベントが開催されており、都市の魅力の発信や経済の活性化など、今後の飛躍に向けたチャンス有する街でもあります。

こうしたなかで、I・TOP 横浜では、横浜が抱える課題や可能性に対し、IoT を通じた課題解決、IoT を通じたニーズの開拓・充足を図るため、新たな枠組みとして「I・TOP 横浜ラボ」を設置し、企業等のプロジェクト創出やビジネス化を支援するとともに、社会課題の解決に取り組んでいます。

I・TOP 横浜ラボ

「コロナ禍における商店街の活性化支援」に関するプロジェクト創出支援の取組イメージ

